

# ユーザーの期待に応える技術・設備力

## 小出口ロール鐵工所



小出口ロール鐵工所(千葉県習志野市東習志野6の21の8、小出武夫社長、047・475・3811)は今年9月、90周年を迎える。1914年(大3)の創業以来、染色機械メーカーから庄延ロールメーカー、さらには庄延ロールのメンテナンスと主力事業は変化したが、従業員本位の経営は創業時から一貫して不動。今後も平均年齢33・7歳の若い従業員の力を結集し、国内で唯一の専門の強みをベースに、次世代経営を進展させる。



小出武夫社長

小出口ロール鐵工所は1914年に現在の東京都墨田区本所緑町でスタートした。当時は紡績や染色メーカー向けの整理染色機械が主力事業だった。戦後は庄延ロール加工を主力事業化し、現在

はロール研削加工によるメンテナンス業務が主体で、売上高の8割を占めている。当時の紡績や染色メーカー向けの整理染色機械が主力事業だった。戦後は庄延ロール加工を主力事業化し、現在

はロール研削加工によるメンテナンス業務が主体で、売上高の8割を占めている。当時の紡績や染色メーカー向けの整理染色機械が主力事業だった。戦後は庄延ロール加工を主力事業化し、現在

同社の強みである。100人余の従業員が15時間、2交代制で機械を操作し、「例えば製紙メーカー向けのロールなら通常の3倍の速さで仕上げることができる」と小出社長は誇らしげだ。手がける庄延ロールの長さは

数センチから10メートル以上、直径も同様で多岐にわたる。こうした加工には相当の技術力、設備力が必要だが、小出明治専務は「どんなロールの加工でもこれまでに蓄積したノウハウで短時間で対応できる」とキツパリ。「突発的な故障が起

る。これについて「庄延社長」。このため、さまざまな面で他社より待遇を良くするよう、心掛けているのも特徴的。もちろん、若い技術者に対する技術伝承も怠らない。「何か目標があると意欲がわく」(小出明治専務)ことから、工場

と。ところで、同社は1970年から毎年、子供たちのための費用を立地先の習志野市に寄付している。ちなみに、寄付金はプランコや登り棒など児童向け遊具に充てられ、地域の福祉関連事業に貢献しているのも見逃せない。今年も習志野市立保育所の子供たちから感謝の絵が届いた。「地域住民のために何かできないかと考えて寄付をしているが、大したことはない」と小出社長は控えめ。だが、30年以上にわたって地域貢献を続ける企業は希有で、その価値は高い。こうした取り組みからも、人を大切にしている同社の経営の心をかいま見ることができよう。

### 国内唯一の専門の強みいかななく発揮

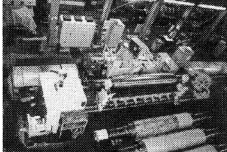
特徴は「当日受注、翌日納品」。これが

「これで、作業員に報いる」という固

「大を目指す」予定だ。

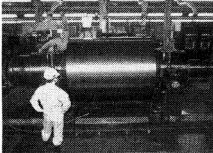
### 従業員重視で堅実経営

「大を目指す」予定だ。



は年々厳しさを増す。最近では1000分の1ミリレベルのマイクロメ

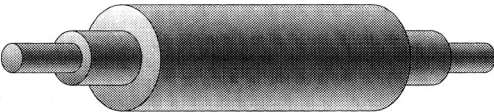
「大を目指す」予定だ。



「大を目指す」予定だ。



**KOIDE ROLL**  
Ironworks Co., Ltd  
Since 1925



TEL.047-475-3811  
FAX.047-475-2422

<http://www.koideroll.co.jp>

E-mail:narashino@koideroll.co.jp

(製鉄、製紙、各種ロールの研削加工及び製作加工を行なっています。)

**確かな技術がそこにある。**

確かな品質をスピーディーにお届けします。



ISO 9001 2002.5.23 取得